

2023年度 事業報告

2023年9月7日-2024年3月31日

1.概要

設立初年度である本年度は、本協会の組織運営に必要な環境整備(諸規定の制定等)を行うとともに、本協会が広く認知されるための広報活動を行い、会員の募集を開始し、会員へ向けた事業(会報の発行、本協会主催イベント等)をスタートさせた。

2.事業報告

1)雅楽の維持・振興をはかるための事業

筆築用ヨシ保全事業

大阪府高槻市の淀川右岸のヨシ原(一般に「鶴殿のヨシ原」と呼ばれるエリア)に自生する筆築に使用するヨシを継続的に確保するための仕組み作りに着手した。関係省庁や地方自治体へ働きかけをし、また、環境保全の観点からヨシ原保全事業を実施する国土交通省に文化芸術の保護及び振興の観点から筆築用ヨシの生育に資する管理・保全を求める要望書を作成し、国会議員への働きかけを行った。

※要望書は、2024年4月3日に本協会より齋藤鉄夫国土交通大臣へ手交した。

2)雅楽に携わる者の教養・技芸向上、および、雅楽の普及のための事業

平安の楽家に聞く雅楽の過去・未来 雅楽協会設立記念イベント～平安の雅を未来へ

本協会の設立を広く知らしめるとともに、協会の理念を発信することを目的とし、設立記念イベントを実施した。

イベントは二部構成とし、第一部では、宮内庁式部職楽部の現首席楽長で協会顧問である多忠輝氏と本協会役員が、明治維新までの雅楽伝承の歴史や、明治以後の楽部や民間における伝承の営為について対談を行った。第二部では、日本宗教の儀式楽として峻厳な神事においても、大規模な仏教法会においても奏でられる雅楽の宇宙観について、日本芸術院会員であり本協会相談役である豊英秋氏と本協会代表理事の小野真龍氏が対談した。また、テーマに関連して、宮中の楽師にとって極めて重要な神事である御神楽儀から「朝倉音取」「朝倉」が元宮内庁式部職楽部首席楽長であり本協会相談役である4名によって演奏され、また、奈良時代の大仏開眼供養会でも奏された仏教国林邑から渡来された「陪臚音取」「陪臚破」が、「朝倉」の奏者に加え、東京に所在する3つの雅楽団体(小野雅楽会、雅楽道友会、日本雅楽会)から奏者を迎えて演奏され、団体の垣根を越えたネットワーク作りを目指す協会の理念を体現した。

実施日 2024年3月9日

会場 東京ウィメンズプラザ ホール

出演者 <第一部> (座談) 多忠輝 小野真龍 中澤信孝 小野貴嗣 <第二部> (対談) 豊英秋 小野真龍 (演奏) 豊英秋 安齋省吾 大窪永夫 池邊五郎 中澤信孝 新屋治 岡久美子

来場者数 207

アーカイブ配信視聴者数 172

3)広報

会員との情報共有及び対外的な情報発信活動を行った。

①本協会設立の周知

本協会を紹介・案内する印刷物を作成し、配布した。

②webサイト・SNS

本協会の簡易版webサイトを開設し、またSNSを用い、本協会の活動を伝えるための広報を行った。

③会報誌「雅楽フォーラム」の発行

主に会員へ向けて、本協会の諸活動や雅楽に関わる情報、本協会会員の活動を伝える会報誌「雅楽フォーラム」を、紙媒体及びデジタル媒体で発行・配布した。

vol.0 2024年2月発行

vol.1 2024年3月発行

④ニュースレターの配信

会員やその他関係者等に、本協会の諸活動や雅楽に関わる情報、本協会会員の活動を迅速に伝えるニュースレターを、メールで配信した。(2023年11月から月1回配信)

4)その他

①定款に付随する諸規定の整備

②渉外活動業務

取材依頼等への対応を行った。

メディア掲載

2023年11月 邦楽ジャーナル (一社)雅楽協会、設立！雅楽界初の横断団体

2023年12月15日 中外日報 雅楽界に初の統括組織

2023年12月27日 読売新聞朝刊全国版 雅楽協会が発足 連携図る

2024年1月14日 産経新聞朝刊全国版 日曜に書く「雅楽の精神と技を未来へ」

2024年1月19日 中外日報 ひと「伝統継承、覚悟決め」

2024年1月29日 毎日新聞夕刊全国版 「伝統芸能の根幹」魅力発信 「雅楽協会」維持、普及目指す

2024年3月7日 週刊新潮 週刊新潮掲示板「雅楽継承のアイデア」

2024年3月19日 京都新聞朝刊 雅楽の普及や発展目指す初の全国組織「雅楽協会」設立 京都市の「平安雅楽会」も参加

2024年3月27日 中外日報 雅楽協会 設立記念イベント 雅楽の未来を語る

3.処務概要

1)会員に関する事項

2024年3月31日現在における会員数

運営会員 132名

一般会員 118名(内 学生会員6名)

サポート会員(団体) 8団体

サポート会員(個人) 17名

2)役員会等会議に関する事項

①総会

第1回定時総会(2023年12月2日)

②理事会

2023年度第1回理事会(2023年12月20日)

2023年度第2回理事会(2024年3月29日)

③臨時理事会

2023年度第1回臨時理事会(2024年1月31日)

2023年度第2回臨時理事会(2024年2月29日)

以上